

校友時報

平成20年8月20日
編集人兼発行人
秋田県能代市高城2番1号
秋田県立能代高等学校新聞部
印刷所 有こんどう印刷

100人のトモシビ 第49回能高祭を終えて

七月五日、六日に能代高校の最大行事である第四十九回能高祭が「トモシビ」燃え立って明日に続くというテーマのもと開催された。生徒はそれぞれのトモシビをもち、一日間を過ごした。一年生には、多少とも苦悶の表情が浮かぶが、三年生、二年生の熱気が伝わり全校が一丸となっているのが感じられた。この二日間の能高祭を振り返ってみよう。

今年の能高祭は、準備期間が短く、一週間と短く、そのため例年よりも忙しく、新たに「トモシビ」が増えた。一年生だけでなく、二年生も大変であった。そして何より、忙しかったのは執行部はじめ能高実行委員の人たちで、彼ら

は数カ月も前から能高祭の準備を始めていた。勉強や部活動との両立に苦労しながらも、着々と準備を進めていた。能高祭一週間前になると、どのクラスもトモシビの準備が完了し、いよいよ本番が始まる。また、生徒が帰った後も執行部は、能高祭実行委員は夜遅くまで作業を続けていた。すべてが能高祭の成功のために、忙しかったのは執行部はじめ能高実行委員の人たちで、彼ら



生徒の歓声が響きわたった

大に賑わっていた。昨年度の問題点であった。トモシビの処理についても、クラスで一つ一つのトモシビをつくるという企画により、解決された。今年はより綺麗で清潔な能高祭であった。

後夜祭は、部対抗の自慢から始まり、次の生バンドでは、今年八月に結成された「トモシビ」の演奏が、最後は「トモシビ」の演奏で締めくくられた。二年生を巻き込み、全校が大きな輪になり、見事なパフォーマンスを披露した。そして、能高祭一週間は終了した。

能高祭が無事成功に終わったのは、執行部はじめ実行委員、全校生徒の頑張りや先生方のサポートが、一つ一つの実績を積み重ねた結果である。三年生にとっては最後の能高祭である。印象深い思い出になったのではないだろうか。

一年生は今回の経験を来年にいかして欲しい。行事に積極的に参加し、部活動だけでなく、全体的に能高祭の準備に協力してほしい。能高祭は、一年生にとっては最後の能高祭である。印象深い思い出になったのではないだろうか。

能高祭が無事成功に終わったのは、執行部はじめ実行委員、全校生徒の頑張りや先生方のサポートが、一つ一つの実績を積み重ねた結果である。三年生にとっては最後の能高祭である。印象深い思い出になったのではないだろうか。

能高祭が無事成功に終わったのは、執行部はじめ実行委員、全校生徒の頑張りや先生方のサポートが、一つ一つの実績を積み重ねた結果である。三年生にとっては最後の能高祭である。印象深い思い出になったのではないだろうか。

先輩たちの
HRT
三ノ宮 俊輔
最初の頃は、そんなに辛くもなかった。むしろ、楽しかった。仕事も、勉強も、すべてが能高祭の成功のために、忙しかったのは執行部はじめ能高実行委員の人たちで、彼ら

能高祭が無事成功に終わったのは、執行部はじめ実行委員、全校生徒の頑張りや先生方のサポートが、一つ一つの実績を積み重ねた結果である。三年生にとっては最後の能高祭である。印象深い思い出になったのではないだろうか。

能高祭が無事成功に終わったのは、執行部はじめ実行委員、全校生徒の頑張りや先生方のサポートが、一つ一つの実績を積み重ねた結果である。三年生にとっては最後の能高祭である。印象深い思い出になったのではないだろうか。

能高祭が無事成功に終わったのは、執行部はじめ実行委員、全校生徒の頑張りや先生方のサポートが、一つ一つの実績を積み重ねた結果である。三年生にとっては最後の能高祭である。印象深い思い出になったのではないだろうか。

能高祭が無事成功に終わったのは、執行部はじめ実行委員、全校生徒の頑張りや先生方のサポートが、一つ一つの実績を積み重ねた結果である。三年生にとっては最後の能高祭である。印象深い思い出になったのではないだろうか。

能高祭が無事成功に終わったのは、執行部はじめ実行委員、全校生徒の頑張りや先生方のサポートが、一つ一つの実績を積み重ねた結果である。三年生にとっては最後の能高祭である。印象深い思い出になったのではないだろうか。

受験生の皆さんへ スクールカウンセラーからのエール

水野 淳一郎

夏休みも終わりました。受験に備えて様々な思いが渦巻いている時期かもしれません。私自身も受験生として、一年生入試に臨みます。現役時代は目の悪行と現実逃避の思考が、受験生としての生活に大きな影響を与えました。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。

受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。

受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。

受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。

受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。

受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。

受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。

受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。受験生としての生活は、大変なものであります。



一般公開で大勢の人が訪れた

緊急地震速報について

日本各地で地震が相次いでいる。その中でも六月十四日に起こった岩手宮城内陸地震は、記憶に新しいところである。緊急地震速報の存在を知っている人は、その重要性を認識している。緊急地震速報は、地震発生直後の小さな揺れを感知し、地震計で地震の震度を測定し、その情報をテレビやラジオに放送することによって、人々に知らせることができる。緊急地震速報は、地震発生直後の小さな揺れを感知し、地震計で地震の震度を測定し、その情報をテレビやラジオに放送することによって、人々に知らせることができる。

緊急地震速報は、地震発生直後の小さな揺れを感知し、地震計で地震の震度を測定し、その情報をテレビやラジオに放送することによって、人々に知らせることができる。緊急地震速報は、地震発生直後の小さな揺れを感知し、地震計で地震の震度を測定し、その情報をテレビやラジオに放送することによって、人々に知らせることができる。

